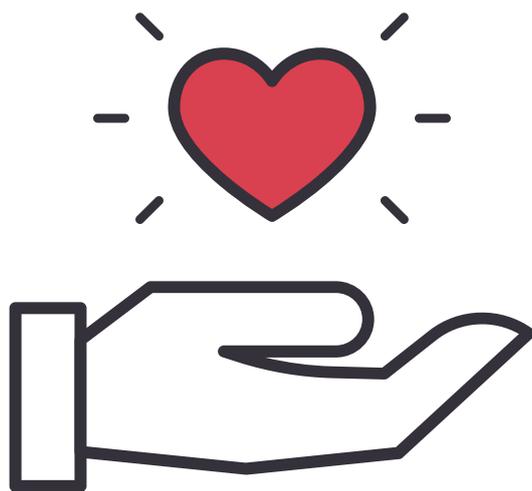


脳に障害があるひとを地域で支えるために



第3回

病院から地域を繋ぐ

～京都府北部地域の現状とその他の資源を知る～

平成30年10月7日(日)

13:00～16:00 (受付開始12:30～)

市民交流プラザ ふくちやま 会議室4-1

参加費 無料

脳に障害があるひとが退院後もできる限り住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう支援する必要があります。去年より、当事者を取り巻く地域で連携し協業していくことを目的に講演会や多職種連携ワークショップを開催しました。

今回は、京都府北部地域の現状を知り、地域と医療を繋いで、途切れない支援ネットワークを構築するきっかけになれば幸いです。

主催：中丹高次脳機能障害者と家族の会「さくら」

後援：福知山医師会，福知山市社会福祉協議会，一般社団法人京都府理学療法士会，
(申請中)一般社団法人京都府作業療法士会，一般社団法人京都府言語聴覚士会，京都府，
福知山市，舞鶴市，綾部市，宮津市，京丹後市，与謝野町，伊根町

第3回 病院から地域を繋ぐ

第1部 講演会 (13:00-14:30)

テーマ「京都府北部地域の現状と連携」

座長：本多伸行氏 (関西福祉科学大学)

①「当院での高次脳機能障害患者様への取り組み」

足立美幸氏

(中丹西地域リハビリテーション支援センター市立福知山市民病院作業療法士)

②「福知山市の現状について」

村松充氏 (福知山市障害者生活支援センター 「青空」)

③「京都府リハビリテーション支援センター(北部)の活動について」

京都府健康福祉部 リハビリテーション支援センター担当者

④「まず一声！～障害福祉サービスへのつなげ方～」

大瀧周平氏 (福知山市障害者福祉課)

第2部 多職種連携ワークショップ (14:40-16:00)

「当事者の声を聞いて連携を模索する」

司会・進行：本多伸行氏

当事者・ご家族の声:受傷してからの体験を聞き，ワークショップ

対象：医療支援スタッフ (Dr, Ns, セラピスト, 介護士 etc)

相談員, 支援員, 当事者, 家族

申し込み方法 (FAXもしくはE-mail)

事前申し込み〆切10月5日

※当日参加可能

氏名	ご連絡先(e-mail)	職種

申込先 TEL : 0773-22-7859

FAX : 0773-22-~~8002~~

7859

訂正

E-Mail: s-uehara@zpost.plala.or.jp

さくらの会 事務局長 上原 榮 行